

# 会報

No. 9

1986. 3. 25 発行

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9  
京都府立図書館内  
TEL(075) 771-0069

## 二 つ の 交 流 会

### 日図協会員との交流会

去る二月二十二日(土)午後、京都大学楽友会館にて、第二回目的日図協個人会員との交流会が、公共14名、大学11名、学校、専門4名の計29名が参加して行なわれました。

今回は、八月二十四日～二十九日にIFLA東京大会が開催されるのを機に、内容もIFLA大会中心としました。

まず、同志社大学文学部教授渡辺信一氏から、IFLA大会の意義、歴史、組織について話をしていただき、昨年のシカゴ

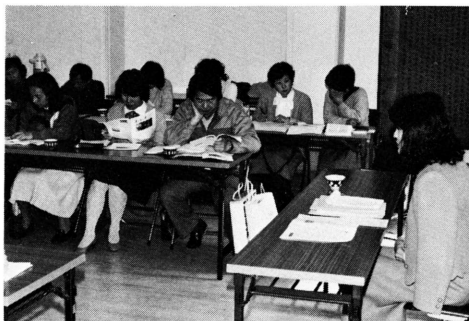
### 京都家庭文庫・地域文庫 連絡会 2/13 於京都府立図書館

長年の課題であった交流会が催され、二文庫・三図書館の活動について熱のこもった発表が行なわれた。特徴をのべると――  
▼京都市中央図書館・児童室―図書館から働きかけるものだけでなく子供が参加する行事を考えている。子供が自分で本を選べる配架法をさがしている。  
▼城陽市立図書館―「資料を提供すること」「利用者とコミュニケーションをはかる」ことを運営の基本とする。自館に資

料がなければ他館から借り、できる限り提供する。子供のための行事は資料の利用に結びつけるためだけではないのではないか。子供が喜んで遊ぶのを見てそう思う。▼宇治市・おおびらき文庫―文庫の日常的な様子。学区外の子供の行動制限などの問題点。▼京都市向島・ふうせん文庫―図書館づくり運動の中から。障害者の人が利用しやすい図書館は、子供が一番利用しやすいのではないか。映画や見学等により昔の図書館との違いはわかったが、余裕をもった図書館づくりを最初からしてほしい。▼京都芸術短期大学附属児童図

大会に参加された時の様子を、スライドやテープを用いて報告され、大会のスケールの大きさに、交流会参加者から驚きの声が発せられました。次にIFLA東京大会実行委員会事務局長の栗原均氏(日本図書館協会事務局長)から、東京大会の準備の進捗状況について報告があり、大会運営経費の確保のための各省庁や関係団体との取り組みの難しさ、国内参加者の予想が少なく、一人でも多く参加してほしいと訴えられた。なお、京都地区からの参加者を、公共・大学等すべての館種合わせて二十五名以上の参加を要請されました。

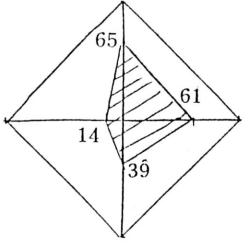
交流会参加者からは、IFLA大会を成功させるためにも、参加や募金活動に協力していかうという声も出されていました。また、大会の前後に外国の参加者がツアーで入浴し、図書館見学を行なう際には歓迎してほしい旨も要望されました。交流会のあと、参加者有志による講師を囲んでの懇親会が行なわれ、和やかなうちに終わりました。



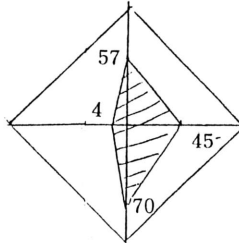
(京庫連との交流会)

# 京都府下公立図書館 (1985)

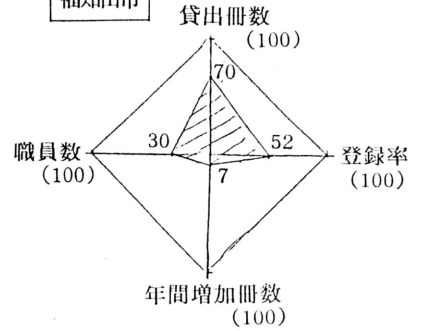
峰山町



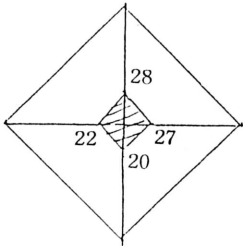
大江町



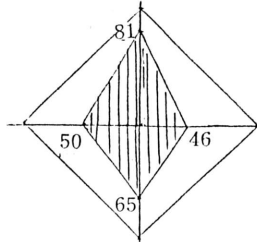
福知山市



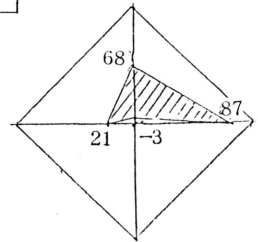
綾部市



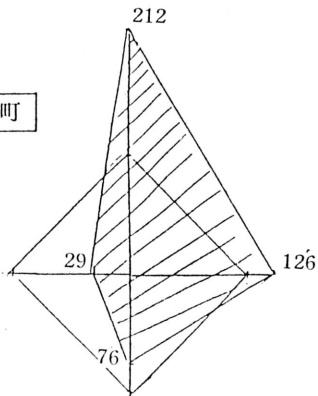
宮津市



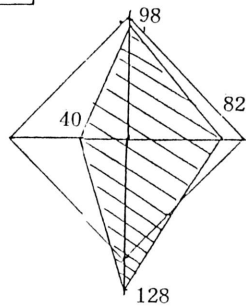
宇治市



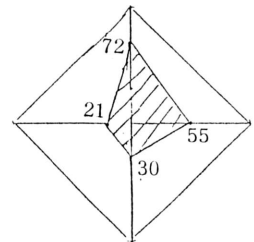
木津町



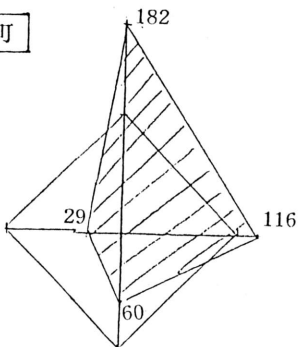
亀岡市



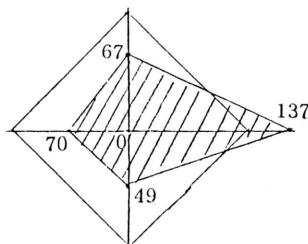
京都市 (全体)



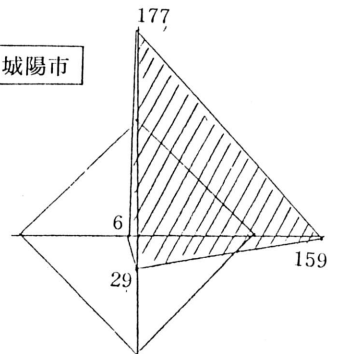
精華町



向日市

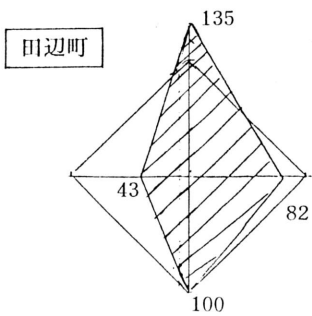
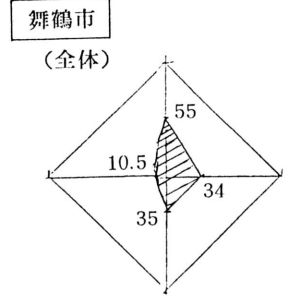
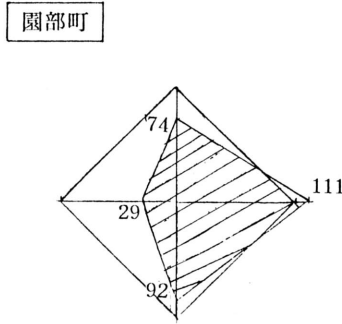
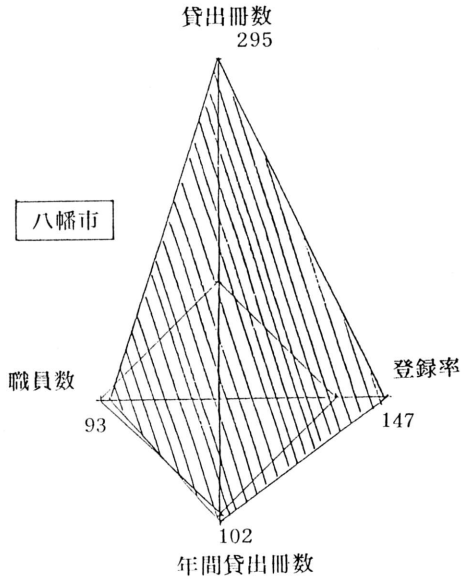


城陽市



※向日市・宇治市は'84年11月～85年3月分 統計

# グラフでみる



## 解説

貸出冊数、職員数、年間増加冊数、登録率について、「公立図書館の望ましい基準(案)」を100として、府下公立図書館別にグラフ化してみました。

全体的にみて、北部(亀岡以北)が南部よりその到達度が遅れているようです。また、図書館活動を支える一要素である職員については、全部が100に達していません。貸出冊数についても、100を超えているのが五カ所だけと寂しい状況となっています。

※宇治市中央図書館の年間増加冊数がマイナスなのは廃棄が多かったため。

※職員数は専門、非専門の合計数。  
 ※参考「統計京都」(一九八五・九)  
 「日本の図書館一九八五」  
 「公立図書館の望ましい基準(案)」

## 第二回理事会報告

三月六日、京都府立図書館において、今期最後の理事会が開催され、今回は、役員改選を控えているため次期役員への引き継ぎを念頭において理事会となりました。

昭和六十年度の会務報告(案)  
 収支決算見込み(案)及び専門委員会については一部訂補のうえ承認され、昭和六十一年度事業計画(案)のうち、IFLA(世界図書館大会)の東京大会参加に対して、私費で参加する人に一部補助をすることが了承されました。また、来年度に発足十周年を迎えるのを機に、記念事業を検討していくことになりました。

昭和六十一年度予算(案)では、研修会における加盟館職員の講師、事例発表者に対する謝金等を廃止するなど、節減予算が提案され、また会報の発行等を担当する広報委員会の設置、IFLA東京大会については、評議員や関係機関と協議を進めていくことになりました。

最後に次期理事については、三月二十五日までに選出、四月中に初理事会を開催することになりました。

### 相互協力委員会

相互協力委員会は、今年度6/27, 10/11, 11/26及び2/14に開催し相互協力に関する規程づくりを進めました。最初検討を予定した規程は、「図書館相互協力に関する指針(案)」、「資料の相互貸借実施要領(案)」及び「逐次刊行物の分担保存実施要領(案)」でした。分担保存については、時間切れで今後検討ということになりましたが指針及び相互貸借の規程については、3月6日に会長あて最終案を報告しました。

この間、委員のみなさんの熱意もさることながら、案の段階で各加盟館にアンケートを実施したところ、ご多忙中にもかかわらず、熱心なご意見をうかがうことができました。これらを逐一検討し、最終案に反映させています。

今年度は丁度、全公図による相互貸借の実態調査が行われ、その結果では、京都府で相互貸借を実施していない館は6館あり、このうちの5館までが今後実施を希望するということが明らかになりました。相互貸借は、すでに実態として広く行われており、それを統一的に処理する規程を必要とする時期にきていると思います。

### 研修研究委員会

2月28日、3月を目前に京都府下全域は寒気のおとずれと朝からの雪は、車の進むのものはばむ勢いの激しい一日でした。

この日は、本年度最後の実務研修会が園部図書館で開催されていました。心配していた欠席者も少なく総勢19人の参加を得て、帰りの道を気遣いながら製本の実技に取り組んでいたのです。

研修の会場では、手際よく動く手元から早々と形を整えていく人、行きつ戻りつの手元に応援の手がのび遅れじと本の形を造り上げその出来ばえに見とれる人、それぞれ修得した知識と技術は、本の補修、小冊子の製本に又、美しい趣味の和とじ本の楽しみへと思いを巡らせながら、予定の研修を終え、お世話になった園部図書館を後にし、雪道に別れをつげました。

本年度は60年5月21日から、北部南部と会場を移し5回の研修会を進めて参りました。各回13館から21館、延123人の方々に参加していただきました。

開催地図書館等のご協力を得て研修事業が無事終り微力ながら皆様方の図書館サービス向上への力添えが出来た事と思っております。

# ニ ュ ー ス ・ News

#### 「お話の仕方を学ぼう」講習会

城陽市立図書館

城陽市地域文庫連絡会と同市立図書館は二月十四日から三回にわたって「お話」の講座を開いた。講師は児童文学作家の森はなさんに教えを乞うており、また寝屋川お話を語る会会員の太野由美さんで、▽読み聞かせ、お話の楽しみ▽今なぜ、おはなしをするのか▽さあ、おはなしを語ってみようの三段階をふまえた。約三十人の主婦らが参加し、希望者が持ち寄った本の読み聞かせを行い、適切なアドバイスを受けた。

#### 障害者サービスを始めました

向日市立図書館

向日市立図書館では昨年初めから朗読ボランティア養成講座を開いて、障害者サービスの準備を進めていましたが、昨年十一月から視覚障害者への対面朗読と、来館できない身体障害者への自宅配本サービスを実施しました。

利用者の出足は遅れていますが、それぞれのサービスについて「実施要綱」や「実施事務要領」を定めて、障害者の利用を待っています。

#### 京都市十一番目の地域図書館

三月二六日、伏見区向島ニュータウン内にオープンする。尚、十二番目として洛西図書館が来春オープン予定。

#### 京都市伏見中央図書館

京都市南部の中核図書館として伏見区役所の東側(今町六五九)に、来年五、六月に開館する予定。蔵書数は当初四万冊で、最終的には十萬冊にする。

### 行事だより

#### ●木津町立図書館

「パネルシアター」3月25日  
絵人形のパネルを使った劇遊びとつくり方講習会

#### ●精華町立図書館

「第三回町内史跡めぐり」

3月27日(木)

